

「このクラスは感じがいいね！」と言いたい

…教室ではなく人間だよ！

今年が暮れようとしています。みなさんにとっては、この一年は激動の年であったでしょう。先に書いてもらった「この一年を漢字一字に」でいちばん多かったのが「新」、ついで「初」です。それくらい新しいこと、初めてのことが印象的な1年だったと思います。



ところで、みなさんのクラスは、どんな感じに仕上がっているでしょうか？ 小学校から上がってきた時はとてもいい子たちだと先生方で感心し合い、

「これは、保護者と小学校の先生方が丁寧にいろいろしつけ、教え込んできてくれたからだろう」と話し合っていました。そして、

「これが、もしおかしくなってしまったら私たちの責任ですね。」

とも話してきました。

今、2010年を終えるにあたり、自分たちのクラスの状況をもう一度振り返ってみてください。腕力の強い人や口調の強い人、わがまま（意地悪）でクラスが仕切られていたり、まじめに取り組もうとする人が笑われたりしていないでしょうか？

教室の雰囲気は、自分たちが決めます。でも、自分たちさえ良ければいいと言うのは、ちょっと違うのですね。本当にいいクラスとは、部外者（担任以外の先生や、例えば転校生、お客さんなど）が行った時に、楽しい気分になったり、「このクラスは感じがいいね！」と言われたりするようなクラスなのです。それは、教室が新しいとか古いとかの問題ではなく、そこにいる人・・・まさに君の「あり方」が決めるのですよ。

そう考えた時、どうすればいいか。それは1学年目標

「時を守り 場を清め 礼を正す」に照らしてみればいいのです。

遅れていませんか？ きれいになっていますか？ 他人に嫌な感じを与えていませんか？

自分が感じのいい人になり、感じのいいクラス、感じのいい学校をつくっていきましょう！

★☆☆「卒業生に贈る言葉」募集★☆☆

卒業式のステージ看板の言葉です。12文字で考えて別紙に記入し、担任の先生に出してください。中尾中の伝統的な取り組みの一つです。自分の言葉が看板になったらうれしいし、記念になりますね。

ここは、新聞掲載部分のコピー「朝の一句」（俳句）です。

北風の吹く中乾いた打球音
高崎中尾中

T